



— 町のスローガン —

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

- 史上最高の豊作…………… 2
- 快適な冬のくらしのために… 4
- 年末の交通安全…………… 6・7
- さようなら '84…………… 8・9



広報

出稼ぎシーズン
留守はまかせて

「留守中よろしくたのむよ」と言葉を残し、今年も 570 人余りの人たちが出稼ぎに出かけました。出稼ぎに出かけた人たちにとっていちばん心配なのは、子どもや老人ではないでしょうか。家族への不安をつのらせ働く方たちが元気で帰ってくることを祈り、みんなで留守をしっかり守りたいものです。（写真は八塩小「祖父母PTA」わらぼうり作り）

12月

わがしゅり

No. 357

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

作況指数 は「108」

史上最高の豊作

10アール当たり572キロ

町内の本年度産水稻の作柄は、遅い雪消えによる作業の遅れなど田植え時の心配をよそに、作況指数が「108」、10アール当たりの平均収量では572キロと、史上最高が予想されています。町農業総合指導センターが11月19日現在でまとめたところによると、出荷状況が同日現在で99パーセントに農家保有米の予想数量を加えると、対前年度比では12パーセントの増量が見込まれ、大豊作だった昭和50年度と比べても、10アール当たり9キロの増となっています。同指導センターでは、「7、8月の高温、多照と、9月からの雨混じりの低温が、成育にうまくかみ合った」と稲の成育を分析しており、5年ぶりの冷害からの脱却を喜んでいます。

品質も「最高」

町農業総合指導センターのまとめたところによると、本町に今年割り当てられた76、769俵の限度数量に対し、7、731俵増の84、500俵が売り渡しできる見込みとなっています。

一方、出荷状況を見てみると、11月19日現在の検査終了米は84、478俵で、等級別には1等米が全体の88・2パーセントを占め、74、510俵、2等米が11・5パーセントの9、695俵、3等米が0・3パーセントの273俵となっており、品質においても例年に比べ大幅に良質になっています。

これら検査終了米に農家保有米を勘案し、本町の作況指数を試算してみると、「108」の「良」となり、昭和50年の「110」には及ばないまでも、10アール当たりの収量では史上最高が記

載されています。



収穫期には「ずっしり」とした重みが感じられた今年の稲作

作柄	作況指数
良	106以上
やや良	102~105
並	99~101
やや不	95~98
平	91~94
やや不	90以下
著しい不	

年次別産米出荷状況等

年次	作付面積 ha	限度数量 (見込み)俵	出荷数量 (見込み)俵	10アール当 たり収量 kg	作況 指数
59	992	76,769	84,500	572	108
58	991	76,139	75,130	527	99
57	985.6	74,592	77,596	551	104
56	980	73,863	62,821	472	89
55	1050	76,896	73,959	497	95
54	1040	76,459	73,620	502	96
53	1010	75,759	80,682	556	107
52	1060	79,298	81,504	542	104
51	1060	78,556	70,654	462	89
50	1030	80,306	86,511	563	110
49	1040	81,720	86,697	539	107
48	1030	78,000	80,544	530	105
47	985	74,833	67,182	487	97
46	980	71,330	62,181	456	91

録される見込みです。

被害農家は

多用途米を調整

こうした状況のなかで、豪雨や干害などによる被害で、限度数量の減額補正を申し出た農家もあります。町ではこれらの農家に対して、農業委員会、食糧事務所、農協、農業共済組合と協議して、他用途利用米の売渡委託数量の減額補正を、農家ごとに主食用の限度数量の扱いに準じて作況調整を行うことに決定しました。

高温・多湿が影響

春の異常低温からは想像もつかなかった今年の収量アップの背景

異常気象へ対応を

しかし、今年のような好条件の気象が来年も期待できる保障はないことから、今回の豊作を単なる喜びとせず、異常気象に対応できる稲作づくりのための今後の検討も怠ってはならないことのひとつと思われます。

稲作は天候に左右され、異常気象の影響を受けやすい。今年のような好条件の気象が来年も期待できる保障はないことから、今回の豊作を単なる喜びとせず、異常気象に対応できる稲作づくりのための今後の検討も怠ってはならないことのひとつと思われます。

3氏が晴れの受章

2氏に自治功労章贈呈



小松前町長ら3氏が町功労者として表彰を受けた

昭和59年町功労者表彰式並びに町自治功労章贈呈式は先月3日に行われ、町表彰条例に基づき選考委員会の選考を受けていた前町長小松栄男氏(宇戸坂)、元議会議長(故)小野昭一氏(宿)、前町教育長佐々木君三氏(大琴)に町長から表彰状と記念品が、また町議会議員として長年町の発展に尽くされた前議員長谷山喜市郎氏(下通)と佐藤文一郎氏(下小屋)に自治功労章が贈られました。

式は有鄰館で関係者80人が出席して行われ、畠山町長が受章者の業績を紹介するとともに、「長い間培われた豊富な経験と識見をもって今後ともご尽力くださるようお願いします」と式辞。これに対し受章者を代表して小松氏が「長年にわたる行政の中で最つとも感慨を大きくするものは、3代にわたり20年の歳月をかけ市郡に先がけて完成を見た土地改良、ほ場整備事業である。この完成は本町の総合的発展の基盤であり、未来の発展を考えれば感無量である」「今後いつその町勢発展を祈念する」とあいさつ。このあと祝賀会に移り、菊かおる文化の日、ともに受賞を喜び、祝い合いました。



自治功労章の長谷山氏(上)と佐藤氏(下)

除幕式は先月24日に行われ、町長や議会議長らが、小野氏のご芳志に感謝の心をこめて除幕しました。

保存林 仁助山

記念碑を建立

本年5月に、本町下吹出身の小野仁助氏(株オノデン相談役・東京都千代田区外神田在住)が、自然環境の保全や治山治水及び森林の保護のため町に寄贈した山林、原野約50ヘクタールを、町の財産として将来とも保存することを後世に継承し、末永く氏の功績を讃えるため、このほど「保存林・仁助山」と記された記念碑を建立し

ました。記念碑は、福島産の「白みかげ石」などで造られたりっぱなもので、寄贈された山林、原野の所在する、黒瀬の中大地内と法内の浅田地内の2か所に建てられました。



小野氏の功績を讃えるりっぱな記念碑

耕輔先生をたたえて

本町出身の音楽家・(故)小松耕輔先生の音楽教育に尽くされた偉業が認められ、このほど県教育委員会が行った県文化顕彰事業で顕彰されました。同教委と町ではこれを記念し、先月1日「小松耕輔先生顕彰記念音楽会」を開催、町内保育園児、小・中学生のほか大学教授らによって先生の名曲の数々が披露されました。

この顕彰事業は県教育委員会が、明治以降からの優れた芸術家、文化人の業績を広く県民に紹介、顕彰するため昭和54年に制定、これまでに県出身の有名人数人が顕彰を受けています。

この日は記念式典のあと、耕輔先生の作曲した曲の数々を子どもらが合唱や演奏をして、先生の偉大なる功績を偲びたたえました。



耕輔先生の作曲した曲を合唱する八塩小児童

わが国の教育音楽の父として知られる耕輔先生は、明治17年に本町館合に生まれ、東京音楽学校(現東京芸大)卒業後、唱歌の作曲を中心に幅広い音楽活動を展開。その後フランスに留学し、大正12年に帰国した後は子どもを育てる音楽運動を指導。また、国立音楽協会の設立にも尽力して日本最初の音楽コンクールを開催、現在の合唱隆盛の礎を築いたと言われています。昭和41年に81歳で他界して今年にはちょうど生誕100年にも当ります。

第10回臨時議会

第10回臨時町議会が先月19日に召集され、大台線改良工事請負契約の変更契約締結の専決処分、防火水槽設置にかかる補正予算の専決処分、智者鶴頭首工復旧工事請負契約の締結について等3案件を審議、いずれも議決し閉会しました。

今回の補正予算は、防火水槽に係る国庫補助金の追加交付による一般財源の追加で、これにより、一般会計予算に2、600千円が追加され、歳入歳出が、2、310、246千円となりました。

快適な冬のくらし

のために……

”除雪“ あなたも協力を

いよいよ「雪の季節」となりました。半年近くの間雪に閉ざされてしまう本町にとって、これからは厳しく長い冬の戦いが始まります。

私たちの生活や地域産業、経済活動に大きな影響を及ぼす交通路の確保と、雪害対策は冬期間の最優先事項として行わなければならない問題です。

このため町では積雪による交通の途絶や混乱をなくすため、今年度も万全の体制で除雪等に取り組むことにしています。

機能も一段とアップ

除雪は上記の計画図にみられるように、A種路線、B種路線、C種路線の4ランクに分類、計画さ

れており、これまでどおり国道は(株)大沼組があたるほか、新たに県道久保・松沢間も同社が行うことになりました。

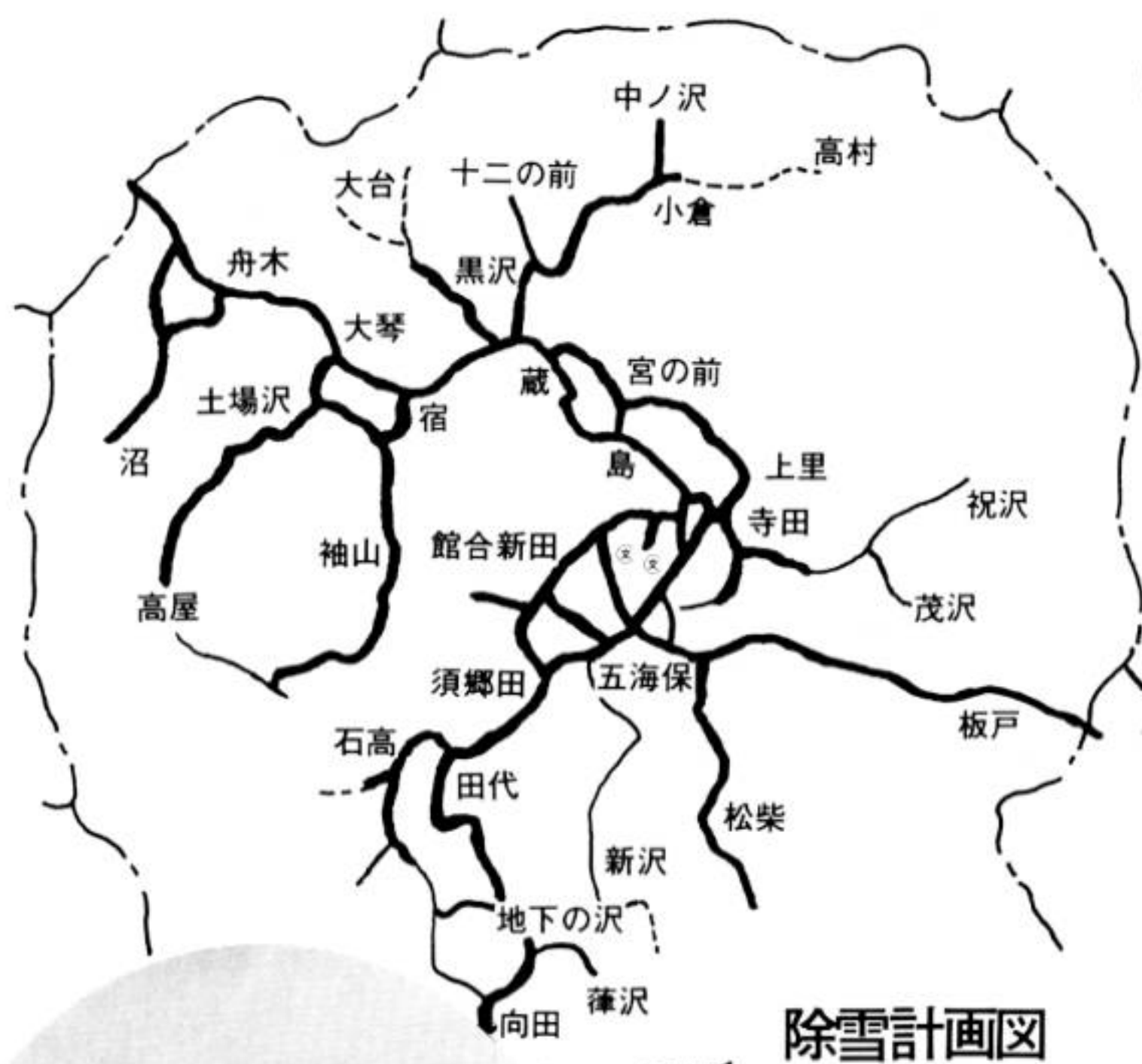
また町では今年ロータリー車1台を増設。ロータリー車3台、ロータリー4台、ドーザー2台、グレーダー1台、除雪トラック1台、ダンブトラック1台など計12台の除雪機械を配備し、11人の熟練オペレーター(運転手)が除雪作業にあたることになっているなど、より充実した交通路確保が期待できそうです。

円滑な除雪のために

雪の積った日は、午前3時から優先路線であるA種路線の除雪作業にあたり、できるだけ町民の日常生活に支障のないよう、午前7時までは終了、次の態勢に入ります。

除雪にはみんなの協力が必要です。

しかし、スムーズな交通確保も除雪中に障害物があったり、路上への排雪があったりしては、作業の遅れとなり、次の態勢に大きな影響を及ぼします。またこれらは時間的な遅れだけでなく、建



除雪計画図

A 種 路 線	—
B 種 路 線	——
C 種 路 線	-----

除雪のマナー

守ってください。

- ① 道路上に置いてある建設、建築資材等は早急に処理してください。
- ② 路上には違法駐車や、故障車の放置をしないでください。
- ③ 待避所は交通交差のためのものです。駐車場がわりにしないでください。
- ④ 屋根の雪や宅地の雪は、道路に持ち出さないでください。
- ⑤ 屋根の雪が道路に落ちて交通に支障をきたす場合はよく注意して、雪が落ちたら速急に自分で処理してください。
- ⑥ 除雪中に各戸の出入口に寄せられた雪はめんどくさくても各戸で取り除いてください。
- ⑦ 歩道の除雪は、部落などで協力して行い、歩行者や自転車の安全を図ってください。

造物の破損も誘発しかねません。一人の無責任な行為が、みんなの迷惑になります。

快適な冬の暮しのための交通路確保に、町民のみなさんの良心的なご協力をお願いします。

道路工事発注情報

(11/26まで発注分)

▶ 農村総合整備 モデル事業 祝沢線改良	・施工場所 老方字祝沢 ・工事期間 10/29～60.3/20 ・契約金額 12,600千円 ・施行業者 村上建設
▶ 農村総合整備 モデル事業 館新田線改良	・施工場所 館合字新田 ・工事期間 11/27～60.3/20 ・契約金額 8,750千円 ・施行業者 佐藤組
▶ 町道台山線 舗装補修工事	・施工場所 老方字台山 ・工事期間 10/23～11/30 ・契約金額 3,740千円 ・施行業者 日本舗道株
▶ 善徳幹線 道路改良工事	・施工場所 館合字善徳 ・工事期間 11/7～60.3/20 ・契約金額 25,110千円 ・施行業者 株大沼組

前号紹介後の工事発注は全部で26か所。
上記以外で発注した主な工事は、大谷地
線、時雨山2号線の舗装工事、中の沢地
区、大台地区、両前寺線の道路災害復旧
工事などです。

大平スキー場22日オープン

食堂部はスキークラブ運営



大平ヒュッテの食堂部

大平スキー場の「スキー場開
き」が22日と決まりました。な
お、これ以前に滑れる状態のと
きは、リフトの運行等を行います。
昨シーズンはヒュッテの食堂
部門を民間に委託、下吹自治会
がこれを受けていましたが、今
シーズンはこれに替わり、町ス
キークラブ(会員30名)が行う
ことになりました。また、現在
建築中の圧雪車庫の2階には、
パトロール員の詰所が設けられ、
スキー場の機能がいち段とアッ
プしました。

愛の献血ありがとう

11月14日、県の移動献血車「あかつ
き号」が来町、町内5か所で次の81人
の方々から尊い血液をいただくことが
できました。

今年度の献血車の来町は今回で終了
しましたが、春から計3回にわたり、延
213人の方々から血液をいただくこ
とができました。ありがとうございました。

大蔵診療所前(12人) (敬称略)

石渡 博一 佐々木日出夫 畑山 寅松
佐々木文子 長谷山貞子 佐々木桑子
佐藤イサ子 佐々木花子 佐々木ヒデ子
小野タマ子 遠藤美智子 遠藤テツ子

役場前(27人)

石渡 博澄 遠藤 歳子 佐藤 ナツ
鈴木 政雄 小笠原キウ子 工藤 良
遠藤 利彦 寅田 敏雄 伊東志津子
小松 長敬 高橋 虔一 小野 武男
小野 進 大庭 敏昭 畠山キウ子

農協玉米支所前(7人)

小松 信記 佐藤 孝悦 遠藤 晃
小笠原千江子 菅原 賢治 巖石 文弥
小野 貞男 猪股 寿和 畠山 基保
伊東 健市 畠山 忠志 阿部 弘章

大蔵館前(7人)

渡辺 仁 小野 夏男 佐藤 幸男
佐藤 十内 遠藤 直志 小笠原秋夫
鈴木 ヒサ

本荘高校下郷分校前(28人)

高橋 一 加藤 俊明 土屋 直弘
小野 彰 畠山 記悦 大日向文子
佐藤真由美 小野かずえ 鈴木 郁子
佐藤 淳 斎藤 俊和 工藤 茂也
伊東 孝弘 小野 克之 阿部 力
岩井 敏貴 遠藤 昌弘 小野 進
青木 和雄 高橋 勝義 鎌田 富子
畑山 敏 小松 誠子 鎌田 綾子
畠山 誠 小松 親 遠藤 慶次
佐々木悦子



高橋富男さん
(館西)
20回

なお、今回献血いただいた方々のう
ち、20回以上献血されている方が9人
おりました(太字)。このうち、前回
(5月21日、9月5日)紹介した人を
除いて、次の方を
ご紹介いたします。

スクールバスを更新

＝ 高瀬小 ＝



更新されたスクールバス

高瀬小学校のスクールバスが、
このほど更新されました。
これまでのバスは昭和49年に購
入されたもので、老朽が著しく危
険なため、買い替えられたもので
す。クリームとオレンジ色のバス
は定員が61人。法内や黒沢地区の
子どもたちの登、下校に利用され
ています。

みんなそろって明るいお正月を

12月は「歳末たすけあい運動」
の期間です。昨年は、みなさん
から468,287円が町社会福祉協
議会に寄せられ、恵まれない方
々のために役立てられました。
こうした恵まれない方々を含め、
みんながそろって明るいお正月
を迎えられるよう、今年も是非、
あなたの「善意の灯」をお願い
いたします。



年末の交通事故防止

酒とスピードに酔うな！

本町交通事故件数は昨年より8件（11月比）少なくなっています。

しかし年末は、あわただしさに安全運転になくはならない。ゆとりを奪われ、ついスピードを出し過ぎたりして事故を起こしやすい時期です。また、忘年会などで酒を飲む機会も増えます。

ドライバーにとって最も注意しなければならない時期を安全に過ごすためにはどうしたらよいのか。スピードの出し過ぎの怖さ、飲酒運転の恐ろしさにスポットを当ててみました。

死亡 4件に1件が
スピード違反

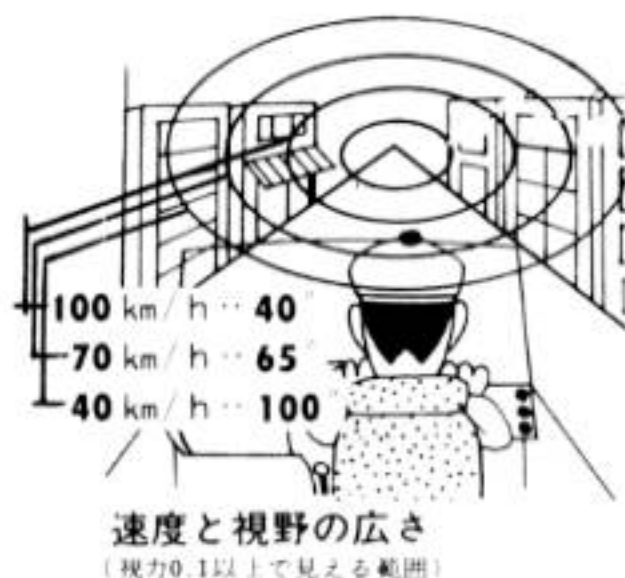
昭和58年の死亡事故をみると、スピード違反によるものは約23%、ほぼ4件に1件の割合となっています。これはわき見運転や前方不確認などの安全運転義務違反による事故に次いで、2番目に多い死亡事故原因となっています。

この数字は、ドライバーの皆さんが、いかにスピードの持つ「破壊力」や怖さを軽視しがちであるかを示している、と言えないでしょうか。

視力を落とす
スピード

視力は、時速30キロぐらいで4分の3に落ち、時速70キロぐらいになると、半分ぐらいまで低下してしまいます。

また、視野もスピードが上がる

危険な
冬場の道路

車はスピードが出ていれば出ているほど、停止するまでに長い距離が必要です。また、同じ速度で

ほど狭くなっています。時速40キロのとき100度くらいあった視野が、時速100キロになるとわずか前方40度くらいになってしまいます。

スピードを出せば出すほど、視力が弱まる、視野が狭められるという事実を知り、スピードは控えるようにしましょう。

も、路面の状況によって停止距離は大きく異なります。

雨天の場合、車が停止するまでの距離は、道路が乾いているときの1・5倍以上かかります。

特に冬場の道路は凍っていたり、雪のためスリップしやすくなっています。このような状況でスピードを出し過ぎるのは危険きわまりないことです。

スピード3倍で
衝撃は9倍

スピードを出して壁などに衝突したときの衝撃は、スピードの2乗に比例します。例えば時速20キロが60キロになった場合、スピードは3倍に増えていますが、衝撃は9倍にもふくれあがるのです。

スピード事故の多くが死亡や重傷事故になりやすいのは、このような衝撃の大きさによるものなのです。ちなみに、60キロのスピードを出した車がコンクリートの壁にぶつかった場合、ピルの5階（約14メートル）ぐらいから落ちたときと同じ衝撃を受けるのです。

スピードを出せば出すほど、危険な状況が増えていく。スピードは、車の持つ本質的な機能ですが、それをコントロールできてこそ、車との上手な「つきあい」ができるのではないのでしょうか。

お元気ですか
保健婦です

⑤

山の木々は、葉を落とし静かに来たるべき冬を待っているかのようにみえます。

初雪をみた11月のある日、象潟町より健康生活推進員の方々をお迎えし「愛育班活動」の勉強会を行いました。

あらためてふりかえってみますと、わが町の「愛育会」も生まれて10才と7ヶ月になります。先輩の愛育班員さんたちが、それぞれ真剣に悩み、考えながら活動してきました。その積み重ねの中から、町民の健康への関心もたいへん深まってきました。特に成人病予防学級や健康大学への参加者からは熱気さえ感じられます。

つい最近開かれた家庭看護講習会の折、「愛育班活動には頭の下がる思いです」との励ましの言葉を講師団の代表の方からいただきました。また他の関係機関からも、関心が寄せられています。

町内には140名の愛育班員が約8～10世帯の中から選ばれて、それぞれ活躍されています。

ご存知ですか、愛育班の活動を

月に1回、自分の受け持ち世帯へ「お元気ですか?」「お変わりございませんか?」と声をかけたり、検診や学級等への参加を呼びかけします。

忙しい主婦がまず自分の健康を考え、家族の健康を見守り、みんなが「元気で長生き」できることを願って、お隣さんやお向かいさんの健康づくりのお手伝いなどをねらいとしています。

四季折々の生活の中から身近かなことを取りあげて、みんなで話し合い実践して行くことにより、健康も保たれるものと思います。

愛育班員の方々は、一人でも多くの方に理解を深めていただきたいために、「生活文化祭」という機会を利用し、「恥ずかしい」「踊れない」などと言いながらも、23名の方が白かつぽう着姿で「ボケない音頭」を踊ってくださいました。踊る前の緊張した顔が、終わった後には満足感あふれる笑顔に変わり、感想や次の文化祭にむけて話がはずみ、にぎやかなひとときを過ごしてありました。

これから冬場にむけて、愛育班員の協力を得ながら、部落巡廻を予定していますが、みなさん誘い合って参加し、日頃の生活の知恵を出し、学習し合いたいものです。

(保健婦・伊東志津子)

飲んだら乗るな!!

交通違反のなかでも、飲酒による違反は罰則が重く、社会的にも許されるべき行為でないことはドライバーならだれでも知っていることでしょう。

本町の、最近における飲酒運転による逮捕者は3人となっていて、幸い交通事故にはつなげたものはないようですが、アルコールが身体機能にどのような影響を及ぼすか、ひいては車の運転にどのような影響を与えるか——飲酒運転の危険性をよく知って「飲んだら乗るな」ことをさらに徹底し、厳守するよう心がけましょう。

飲酒が及ぼす影響

酒に酔った状態というのと、どんな状態を想像しますか。足元がふらつく、目がすわる……。

実は、こうなる前に、すでにアルコールは自制心や判断力に悪影響を与えているのです。

見た目には酔ったように見えなくても、自制心や判断力はかなり

鈍くなっている。にもかかわらず、自分では気づかない——ここにアル



酒酔い運転と道路交通法

罰金に処するという規定が設けられています。

〔注〕アルコールの量が血液1ミリリットルにつき0・5ミリグラ

気1リットルにつき、0・25ミリグラム以上（道路交通法施行令第44条の3）であるときは、3か月以下の懲役または3万円以下の

コールの「危険な落とし穴」があるのです。

その結果、アルコールが入ると、かえって知覚作用や運転技能が平常よりも良くなったと感じ、危険な追越しなどを平気でするようになってしまう。

こうして自分勝手に、酒1合までなら……ビール1本ぐらいなら……といった考えで運転して、ついには重大事故を起こしてしまう、というケースもよくあります。

飲酒運転時の機能障害

アルコールによる影響は目にも表われます。視力が落ちるほか、視野も狭くなるのです。車の運転に必要な「目からの情報」が少なくなるのですから、危険なのは言うまでもありません。

また、運動筋肉をコントロールする神経が侵されると、刺激に対

ム以上または呼気1リットルにつき0・25ミリグラム以上とは、一般的には、次の飲酒量を言います。

日本酒（一級）	200cc
ビール	760cc
ウイスキー（40度）	80cc

これらを20〜30分で飲んで、30〜60分後の状態。もちろん、人によって、また、そのときの心身の状態によつて多少の違いがあることは言うまでもありません。

交通安全塔が建てられました

このほど本町横渡地内に「交通安全塔」が建てられました。

この塔は、交通安全思想の啓もうと、増え続ける交通事故の防止を願い、本荘地区交通安全協会が建てたもので、先月30日関係者30人が出席して修祓式を行いました。

塔の高さは9メートルで、赤い地に白い文字で「安全は心で注意目で確認」「忘れないルールとベルトとヘルメット」などと4面に書かれ、蔵パイパスを通るドライバーの目を誘っています。



横渡地内に建てられた「交通安全塔」

する反応などが鈍くなります。

例えば信号が「赤」なのを確認してからブレーキを踏むまで、ふだんは1秒足らずなのに、飲酒時では、反応が遅れて2秒かかったとします。時速40キロとしますと、その「1秒」の差は距離にして11メートル。それだけ、事故の危険性は高まります。

こうしたアルコールによる障害をまとめると次のようになります。

①視力障害、特に動いているものを見る動体視力に障害が起こる。また視野が狭くなり、一点を中心に周りが見えなくなる、いわゆる「トンネル視」の状態になる。

②下肢運動神経の機能が低下し、ブレーキの遅れ、アクセル、クラッチなどの操作が乱暴になる。③集中力が純り、身体平衡感覚や握力が低下し、疲労感が高まる。

◇ ◇ ◇
「自分は酒に強い。1合ぐらいなら運転しても平気」というのは大きな誤りです。ちよつとでも酒を飲めば、自制心が失われ、運動機能や知覚機能が鈍くなるのです。ひとたび事故を起こすと、死亡事故につながりやすい飲酒運転。酒の強い弱いにかかわらず危険であることを肝に銘じて、「乗るなら飲むな、飲んだら乗るな」を実践しましょう。

なら84

「行政改革の推進」「依然として低迷状態の景気」等、いつそう厳しさを増した世相で迎えた昭和59年も残すところ1か月。みなさんにとっては、この1年どんな年だったでしょうか。町では前年に引き続き、起債充当率の引き下げ、公共事業の抑制など、一段と厳しい行財政運営を余儀なくされながらも、町民待望の企業誘致の実現、本町学校統合をしめくくる高瀬小学校の開校、新しい生産基盤を確立する県営ほ場整備事業の完工、水道拡張工事の完成など、生産・生活ともに快適な町づくりの歩を進めてきました。

今号では、行く年を振り返り、来る年の発展を期し、今年発行した広報の中から「84町勢10大ニュース」と題して主な出来事を拾ってみました。

形づいた

生活・産業基盤

今年の出来事の中で最も大きく取り上げられるのは企業の誘致ではないでしょうか。産業に恵まれない本町にとって男子型誘致企業「秋田信英(株)」の進出は、就業機会の拡大のほか、人口流出の大きな歯止めともなることから全町民の大きな期待を集めました。

「秋田信英(株)」は本年2月に県の誘致企業として進出が決定。4月に工場建設に着手し、8月1日から操業を開始。以来順調な生産により来年6月には第2工場の竣工が予定されています。

こうした晴れやかさの中にあつた4月、本町学校統合の幕を閉じるべく蔵・老方小学校が統合、本町教育史上に、新生「高瀬小学校」の名が刻み込まれました。

そして8月には昭和57年度から3か年にわたって進められていた水道拡張整備事業が完成、給水開始。10月には、11年の歳月を費やした県営ほ場整備事業が完工をみるなど、住み良い町の生活、産業基盤が次々と形づくられました。

交通事故死亡ゼロ
1,500日達成



祝 町制施行10周年 合併30年記念
水道拡張整備事業完成



東由利町誕生10周年

今年の

主 な あ ゆ み

4	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1
・4	・22	・21	・20	・19	・10	・1	・29	・24	・19	・7	・6	・4	・23
高瀬小開校式(高瀬小体育館)	沢市、川西町・農業青年18人参加	中核農家及び農業後継者研修バス(山形県米)	老方小魔校式(老方小体育館)	第1回町民スキー大会(大平スキー場・50人参加)	蔵小魔校式(蔵小体育館)	代表・8人)が2年連続の秋田営林局長賞授賞	法内の八本杉が県天然記念物に指定	第26回県優良家具展で「八杉会」(遠藤直志)	飲酒運転追放無事故競争で本町が県知事表彰	場経営部長、鈴木竜太郎中央部家畜診療所長)	畜産講演会(有隣館・講師に北川重一県畜産試験)	池袋「養老の瀧」、2500人参加)	出稼ぎ者激励懇談会及びふるさと集会(東京・西)
誘致企業「秋田信英(株)」進出決定	豪雪対策本部を設置(4・30解散)	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会	町臨時議会

・本町ジャージー牛が日本一に

・「八本杉」が県天然記念物に

・町議会議員選挙執行



豊作

“豊作”
が

一年の幕閉め

建設的な事業が進むなか町内には
明るいニュースがたくさんありま
した。いくつかを拾ってみると：

記念し新たな飛躍を誓い合った式典が9月に行われ、町民の道しるべとする「町民憲章」も制定された。

▼交通要路が1、500日を記録。8

月7日、町民多勢が参加し、

安全町民大会」が行われた。

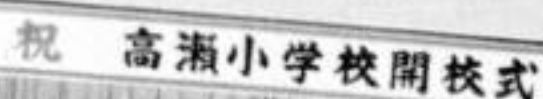
▼全日本
本町畑山克司さん飼育の牛が出陳

日本一の名譽賞を獲得した
大杉が、景天然記念

物に指定された。

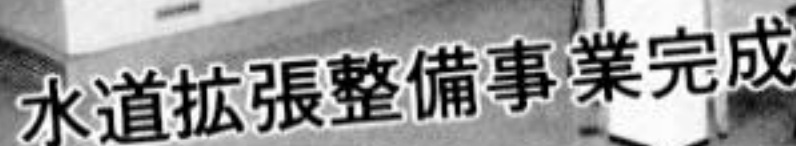
このほか、任期満了に伴なう町議会議員の選挙が行われたことも一年を振り返るときに思い出されることです。

そして、本町の飛躍を期すべくこの一年の閉めくくり役が、5年ぶりの豊作ではなかったでしょうか。



高瀬小開校

「'84町勢10大ニュース」は、それぞれによって選び方に違いもあるかと思いますが、下記「主なあゆみ」を参考に、それぞれで拾ってみてはいかがでしょうか。



4・21	町保健対策推進協議会を設立（町内医師等16人）
4・26	自治会長会議（有鄰館）
4・30	大火防止訓練（老方地区・250人参加）
5・	第三期山村振興計画事業実施
6・4	小野仁助氏が町に山林など約50ヘクタールを寄付 ふれあいの森造成事業で、町民いこいの森にサツ キを植樹
6・8	高瀬小竣工式（高瀬小体育館）
6・18	町敬老会（5会場・地区ごと）
7・4	町畜産共進会（大平スキー場構内・95頭出陳）
7・14	町議会議員選挙執行
7・17	町消防大会（町民グラウンドほか・4分団優勝）
7・23	町臨時議会で議長に長谷山二郎氏、副議長に川尻 幾郎氏就任
7・24	交通事故死亡「0」1、500日達成
8・1	東由利水道拡張整備事業完成、給水開始
8・1	誘致企業秋田信英（株）操業開始
8・2	助役に畑山良一氏就任
8・7	交通安全町民大会（東中体育館・500人参加）
8・8	町出羽丘陵開発推進協議会を設立（町議員等18人）
8・15	町成人式（有鄰館・該当者105人）
8・16	全県小学校野球大会に大琴小出場（八橋球場）
9・1	町制施行10周年・合併30年・水道拡張整備事業完 成記念式典挙行（東中体育館・400人出席）
9・2	町勢要覧、30年のあゆみ、テレビ番組「のびゆく 東由利」作成、町民憲章制定
9・2	豪雨本町襲う（被害額2億1千万円超す）
9・14	全日本ジャージー牛共進会に本町から畑山克 司さん（島）の牛が出陳、名誉賞獲得（岡山県）
10・9	東由利地区県営ほ場整備事業竣工式挙行（東中体 育館・250人出席）
10・12	県道横手東由利線改良整備促進期成同盟会発足
10・27	誘致企業秋田信英（株）竣工式挙行
10・27	町青年交流会（朋楽荘・90人参加）
11・1	「小松耕輔先生顕彰記念音楽会」開催
11・3	町功労者表彰式（有鄰館）
11・24	「保存林・仁助山」記念碑建立
史上最高の豊作を記録	

ま ち の 話 題

民謡で2人目の日本一誕生

「本荘追分」全国大会で文吉さんが優勝

第1回「本荘追分」全国大会が先月4日本荘市文化会館で行われ、本町から2人が出場、このうち遠藤文吉さん（小倉）がみごと優勝し、NHKのど自慢で日本一になった浅野和子さん（大台出身）に次いで、民謡で本町から2人目の日本一が誕生しました。

中心に、秋田市、横手市、大湯村などから42人が参加しました。日本一に輝いた遠藤さんは、町民謡同好会々員で、歌のほか三味線でもプロ級の腕前と言われています。

なお、町民謡同好会では、遠藤さんの栄誉を祝し、今月16日午後1時30分から有隣館で「祝賀会」を、恒例の芸術サークルの交流会を兼ねて行なうことにしています。

会費は1,500円で、どなたでも参加できるといことです。



優勝旗を手に日本一を喜ぶ遠藤さん

県発明展で11人が受賞

発明考案に対する関心を高め、科学技術の振興を図ろうという第33回秋田県発明工夫展が11月17日から20日まで、県児童会館（秋田市）で開かれ、本町から52点を出品。審査の結果、大日向奨也くん（高瀬小2年）の「バッテリーマシ」が県知事賞に輝いたほか、次の方々が受賞しました。（敬称略）

〔毎日新聞社賞〕

小松亜希子（高瀬小6年）

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

〔NHK秋田放送局長賞〕
小松雄一（八塩小2年）
〔県商工会議所連合会長賞〕
畠山 恵（高瀬小6年）
〔斎藤憲三顕彰会賞〕
遠藤忠敬（高瀬小6年）
〔発明協会県支部奨励賞〕
長谷山まり子（大琴小1年）
小松正喜（八塩小2年）
畠山竜紀（大琴小3年）
阿部清隆（〃 5年）
大塚玲子（八塩小5年）
小松映子（〃 5年）

3年連続して

市郡を制覇

東中

市郡珠算競技大会

本荘市由利地区商工会連絡協議会が主催する第31回市郡珠算競技大会の団体競技で、東由利中学校が3年連続優勝を果たしました。



団体競技で優勝した東中生

この大会は、情緒豊かで秋田を代表する「本荘追分」を正しく長く保存し、後世に伝える一助にしようと本荘市商工会が主催したもので、本荘由利地方を小が出場しましたが、小学生勢は惜しくも入賞できませんでした。

団体競技で3連覇を制した東中は個人競技等でも活躍、鈴木貴子さん（2年）、吉川栄子さん（2年）、佐々木則子さん（2年）らが上位入賞を果たしました。

寝たきり病人看護に自信

第3回健康大学

今年度3回目の「健康大学」が11月20日有隣館で行われ、家庭の主婦ら70人余りが参加し、熱心に学習しました。

「健康大学」は、家族が心身ともに健康な日常生活を送ることができるようにと、主婦を対象に行っているもので、この日は「家庭看護講習会」と題して日本看護協会秋田県支部本荘由利地区会員らが、寝たきり病人の看護法などを指導。寝まきやシーツの取り替え方、洗髪の仕方、床ずれの予防などについて実技を主とした学習をしました。参加した主婦らは「今後こう



70人余りが参加し、真剣なまなざしで学習し合った

した病人をかかえても、とまどわずに出来る自信がついた」と、学習の成果を話していました。

佐々木さんに
知事感謝状

10月25日に協働社大町ビル（秋田市）で行われた国民年金事業優良団体等表彰式で、佐々木ハルオさん（大琴）に県知事から感謝状が贈られました。佐々木さんは、長年にわたり年金委員として国民年金制度の向上発展に貢献していることが認められたものです。

まちの話題

ヒョウにも負けず体力づくり

下郷分校で強歩大会



「寒くて歩いてなんかいられません」と、全力疾走する下郷分校生たち

本荘高校下郷分校では先月2日、全校生徒のうち60人が参加して強歩大会を行いました。これは、基礎体力の向上、気力の充実のために昨年からは始めたもので、コースは男子が分校―横渡―黒沢―大台―大琴―坪倉―館合新田―分校の22^{キロ}、女子はこれを短縮した18^{キロ}。当日は強風のうえ、時折ヒョウが降る最悪のコンディション。走っても歩いてでも完走すればよい大会でしたが、身に突き刺さるような寒さのため「歩いてなんかいられません」と、強歩ならぬ、全力疾走でスタートを切っていました。

この大会に対する生徒たちの意欲は高く、同校では伝統行事として続けたいと話していました。

上向いた牛の価格

ここ数年来低迷を続けていた牛の価格が、先月8日から9日に行われた「由利家畜市場」からみて多少好転のきざしをみせています。

同市場によると、全体の平均では去勢牛、此牛合計の1^キ当たりの平均が981円で、昨年同期市場より7・6割上がっています。

由利畜連（本荘市）によると、

「全国的に上向き傾向にあり、当市場への県外客も増えていることから、来年4月ごろまでには安定した価格になるのではなにか」と話しており、今後の価格上昇にも期待が持てそうです。ようやく上向いた牛の価格に、町内の畜産農家は「これまでは赤字経営を余儀なくされてきた。何とかこのまま上昇していったほしい」と深刻ななかにもやや

畜産振興

雑感

わが町は、稲作の町であるとともに、畜産の町、牛の里でもある。

飼育肉牛2、500頭を超す数。郡内切っぺの畜産の町である。それでも畜産について案外知られていないこともある。

過日、町長面会日で、町の主婦が雑談の中で、共進会を

明るい表情で話していました。



町長の談話室 島山亮二郎

初めて見て、町にすばらしい牛がたくさんいることに驚いたといい、牛に立派な名前がついていることも初めて知ったという。出羽丘陵開発は何をやするのかという人もいる。

出羽丘陵開発事業が2年目に入り、事業が本格化してきた。出羽丘陵開発事業は、わかりやすくいえば、牛の粗飼料を得るために、山を切り拓いて草地を造成する事業：そう覚えた方が早い。

この事業を成功させることは、畜産振興の成功につながることであるので、なんとしても成功させなければならぬ。

牛の飼育農家は、複合経営の中核。このところ、牛の価格低迷で先行き不安を隠し切れないが、最近上向き安定の傾向も見え出し、ホッとしている。

さて、先頃、肉牛団地の畜舎に足を踏み入れ一巡してみても、熱意にあふれ、意欲に燃えて取り組んでいる人々の心の灯を決して消してはならない……と実感した。牛の価格の低迷に動じない、肉牛飼育経営へのチャレンジ精神。肥育牛の一貫経営の試みなど。成功を祈りつつ……。

ジャージー種は、かつて、わが町乳牛の主流で、昭和33年、オーストラリアから31頭輸入しはじめられた。飼育頭数の最

高は昭和39年に467頭を数えたといわれるが、今は36頭だけ。しかし数少ない畜産家によって歴史の灯がしっかりと守られている。このたび、この方々に誇りある栄冠が輝いた。

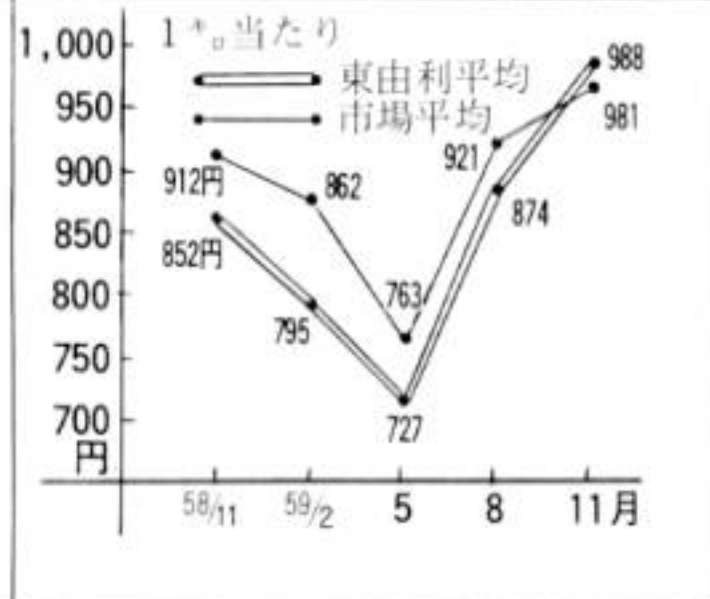
それは、本年9月14日から行われた第2回全国ジャージー共進会において、日本一の賞に輝く光栄に浴したことがある。

畜産の町「東由利」を全国に紹介したことになる。逆境にめげずに苦勞を報われた受賞：立派である。これこそ畜産家にとって何よりの最高の誇りであろう。そして鑑でもある。心から祝福してやまない。

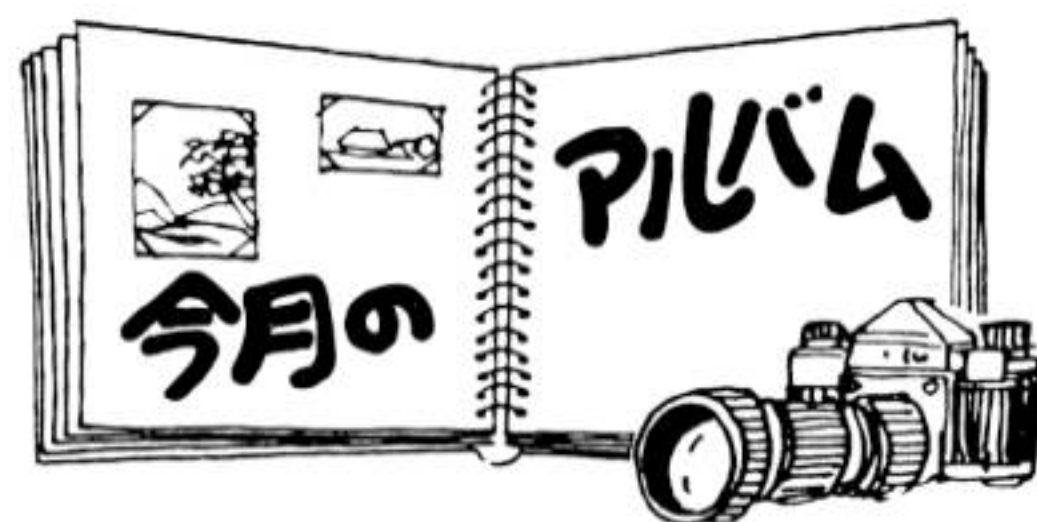
稲作と畜産：これは、切離して考えることができない。土づくりとしての牛の飼育。化学肥料万能の考えが、いま見直されている。有機肥料：昔日の農耕作業への懐旧ではなく、農業本来のものなのである。

「稲作農家は牛を飼育すべきである」そう提言したい。現在、農家1、000世帯のうち、有畜農家が500世帯余だけ。農家全世帯に牛がいる……これを目指したいものである。

牛価格の推移



生活文化祭・農協祭



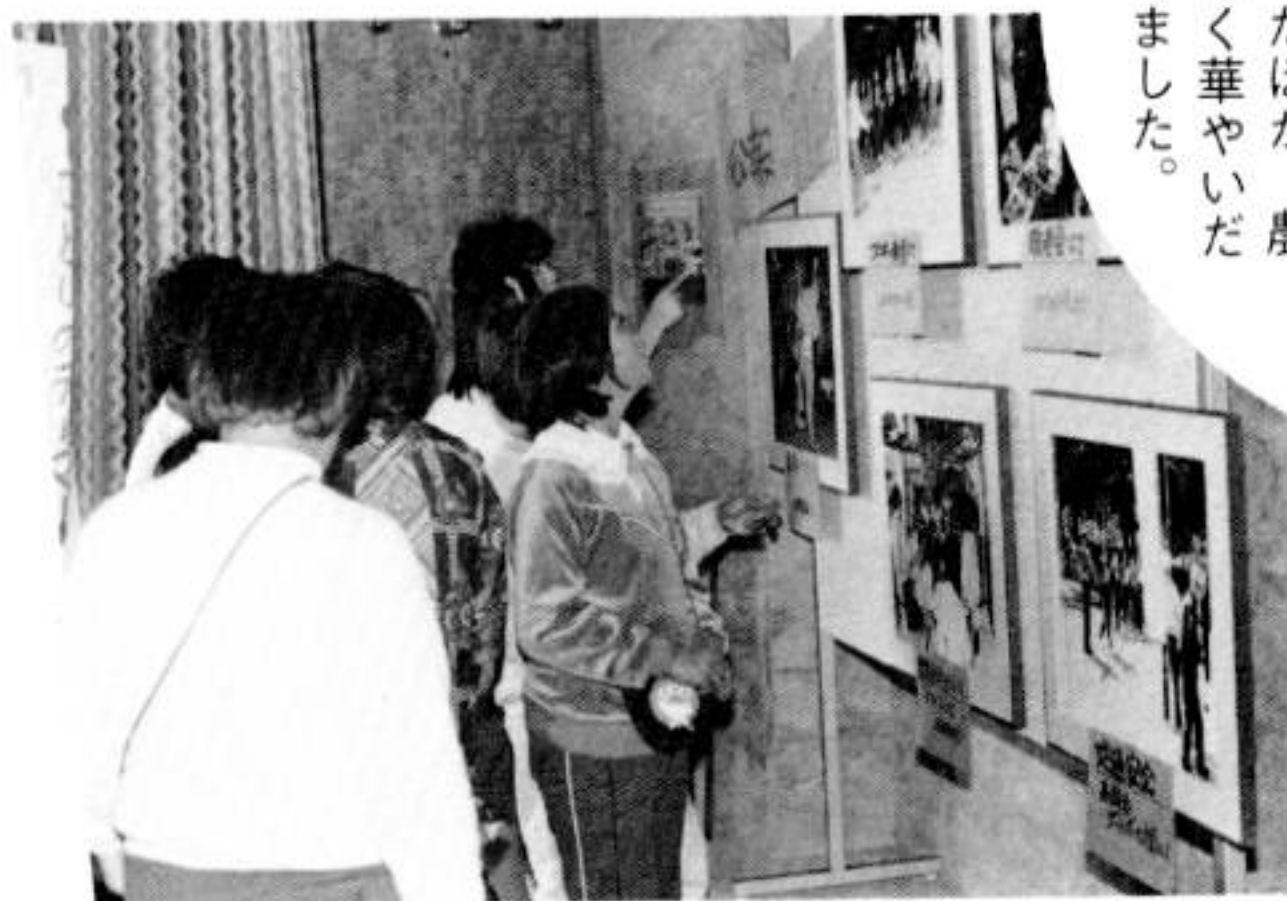
会場に入りきれないほどの観客でにぎわいをみせた「ステージ発表」すばらしい演技が続出。

11月4日・5日の2日間にわたり、町生活文化祭が有鄰館、朋楽荘、公民館で、農協祭がライスセンター構内で行われました。期間中は好天に恵まれ、延べ4千人を超す人出でにぎわいをみせ、文化祭のステージ発表では、会場に入りきれないほどの観客でにぎわったほか、農協祭でも、豊作を喜ぶムードで楽しく華やいだ2日間となりました。

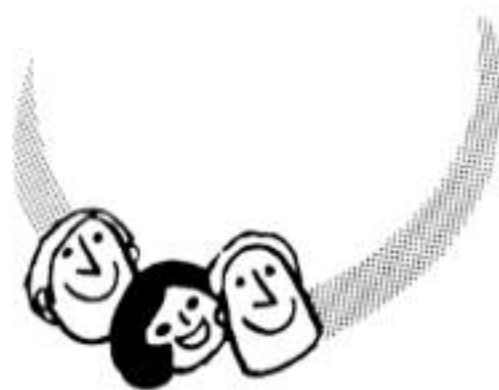


お年寄りが、手塩をかけて作った作品がズラリ。いつもながら好評を博した「老人作品展」

出品点数は少なかったものの、撮影技術の向上がみられた「写真展」



文化祭会場の花形「発明工夫展」。エジソン顔負けの作品の数々は、見る人の足をとめた。



豊作ムードが会場一帯から感じられた農協祭。タイヤキの味も格別…(右)農産物も質のよいものばかり。「優秀をつけがたかった」と審査員の声も(左)



民話・その8

こ が

木枯らしの夜の炭焼き小屋



お話しと絵は、石渡力造さんによるものです。

むかしむかし、田代の村に駒吉さんという若者がいました。働き者の駒吉さんは気のどくなことに3年ほど前に、お糸という女房を亡くしました。それからというもの、すっかり元気がなくなり、人前にも出たがらず、石高の沢中森の山に入り、毎日木を切り、炭焼きをしてひっそりと暮らしていました。

木枯らしの吹く寒いある夜のことでした。炭焼き小屋のいろりでトロトロ火をたいていると、「こんばんは、こんばんは」とやさしい女の声がします。「こんな山奥の炭焼き小屋をたずねてくるのは、きつと狐か、ムジナの仕わざに違いないと、首をかしげながら、みぞれが吹きつけるすすけた窓からそっとのぞいて見てびっくりしました。

絵に描いたような美しい一人の女が戸口に立っていました。どことなく亡くなったお糸に似ている女を見て駒吉さんは、早速戸を開け、「…寒かったろササ…早く入って火にあたれや…」と中に入れようとした。ところが女は親切な駒吉さんの手をは

らうように、「私は八塩の山から来た者です。駒吉さんがここに居ると大変なことになります。私と一緒においでください」と、駒吉さんの手を引き先になって歩き出しました。

駒吉さんは、何がなんだかわからぬまま、目に見えない不思議な力に引かれるような気持ちで女のあとについて行きました。

どのくらい歩いたのでしょうか、太い大きな柱のある二階建ての家に案内されました。女は、「この家の二階で、どんなことがあっても声を出したり動いたりしないで、じっとしててください」と言って、暗やみに消え去ってしまいました。

「ゴウー」と、山の木が倒れるような強い風が吹き荒れ、風の合い間をぬって「ウォーッオオン…」と、狼の遠吠えが聞こえます。群れをなしておそいかわるこの狼集団を村人は、千匹狼と呼び、恐れおののいていました。

どうやらこの千匹狼、駒吉さんの炭焼き小屋のあたりで暴れまわっているようです。小屋の中に入りところかまわずかみつき、小屋の物を蹴散らす激しい音と狼のうなり声が風にのって駒吉さんに聞こえてきます。

「ウォーウォー」暴れまわる千匹狼の群れが、こんどは駒吉さんのいる二階建ての家に来て、二階で息をころしている駒吉さんの下をドォーッと凄じ勢いで駆けぬけてゆきます。駒吉さんはあまりの恐ろしさに気を失ってしまいました。

首すじに落ちた冷たい雨のしずくで、ふと我れにかえった駒吉さんはあたりを見てびっくりしました。太い大きな柱のある家の二階だとはかり思っていたら、なんとそこは、沢中森の山一番の大きな杉の枝の上だったのです。命びろいをした駒吉さんは、これはきつと亡くなった女房のお糸が八塩の山の精となつて自分を助けてくれたに違いないと思うのでした。

荒れふぶいた木枯らしもおさまり、凍りついたような夜明けの星がお糸の顔を思わせ、美しく輝いていました。

とっぴんからりの山椒の実

ねんきん つうしん

保険料は控除されます

59年中、国民年金の保険料を支払った人は、自分の分はもちろん家族の分も社会保険料として「所得控除」を受けることができます。

1年間に納めた額を確認して、年末調整あるいは確定申告の際には忘れずに手続きをしてください。

59年の年間保険料は次のとおり。

〈月額保険料〉

	定 額	定額と付加
1月～3月	5,830円	6,230円
4月～12月	6,220円	6,620円

〈年間保険料〉

1月～12月	73,470円	78,270円
--------	---------	---------

工業導入実施計画を 西山から上の代に変更

西山工業導入地区農村地域工業導入計画が変更され、11月1日付で告示されました。内容は、工業導入地区を西山地区から上の代地区に変更したものです。



みんなのひろば

紹介

防火弁論大会で
最優秀賞の
恒 憲 くん

簡保作文コンク
簡保局長賞の
薫 さん

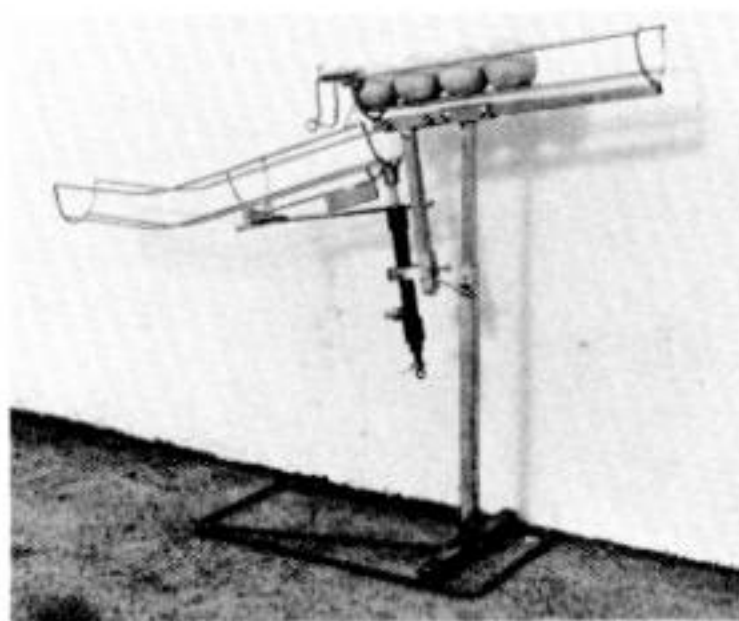
火災予防の担い手である中学生に防火意識を高めてもらおうと、本荘地区消防事務組合が行った「第1回中学生防火弁論大会」で、「目をかけ、声かけあつて火災予防」と題して発表した東中2年の五十嵐恒憲くんが見事最優秀賞を獲得



東中2年
小野薫さん



東中2年
五十嵐恒憲くん



将也くんの発明した
「バッティングマシン」

しました。また、同じく東中2年の小野薫さんは、第23回簡保保険郵便年金作文コンクールに「祖母のお小遣い」と題した作文を応募、厳正な審査をうけ、簡易保険局長賞を受賞しました。
おめでとうございました。

将也くん



高瀬小2年
大日向将也くん

県発明展で 知事賞の

「まちの話題」でも紹介した、県発明展知事賞受賞の、高瀬小2年大日向将也くんの作品「バッティングマシン」を紹介します。
これは、空気の圧力を利用してボールの落ちる速さを変えることができるようにしたもので、左側のレールを下げるとボールが次々と飛び出し、ポンプの下にあるバルブの調節によって速度の調整ができます。
また、身長に合わせて、高さの調節もできるようになっています。
この作品は3月に行われる全国大会への出品も予定され、入賞が期待されています。

みがきにしん漬け

大根の豊富な季節なので、大根を使った「みがきにしん漬け」を紹介します。

ふるさとの味



佐藤敬子さん
律 沢

〈材料〉

・干し大根（1週間ほど干したものの1キロ・みがきにしん（やわらかいもの）500グラム・キャベツ（青いほうがよい）800グラム・にんじん、500グラム・こうじ、100グラム・塩160グラム（材料重量の約5パーセント）

〈作り方〉

(1) にしんは3センチの長さに切り、ぬるま湯で油をサッと流す。
(2) 干し大根とにんじんは同じ大きさの短冊切りにし、キャベツはざく切りにして全材料に分量の塩を混ぜ、容器に入れて重し

をかける。

(3) 1週間ぐらいたったたら、こうじをパラパラに離しておき、塩漬けにしている材料に混ぜて、また重しをして出来上がりです。こうじを入れてから1週間ぐらいで食べられます。

なお、干し大根がない場合は、生大根を塩漬けしてから漬け込むのもよろしいです。

〈おいしく漬けるコツ〉

冷暗所に保存しておく。大根のおいしい季節が漬け時です。

私の赤ちゃん

「けがれのない人間に育ってほしい……」聖也ちゃんの名前にはそんな願いが込められているそうです。おばあちゃんが2人いる聖也ちゃんは、ふだんは大きいフチエおばあちゃんといっしょ。でも、元気が良くいつもニコニコ顔の聖也ちゃんに「歩けるようになったらとてもめんどくさいよ」とえびす顔で話しかけていました。



としゃ
渡辺聖也ちゃん 時雨山
59・4・17生まれ
仁さんと益子さんの長男

われらちびっこ派

⑤

今月の「ちびっこ」は、永慶保育園「月組」からの登場です。

テーマ おおきくなったらなにになりたいの

わたしはすちゅわーですになっていろんなくにへいきたいな。



はせやま いくこちゃん
(6さい・ゆでの)

さかやか 君

西村 宗



前号「ふるさとへの便り」で、小松六郎さんの年令が57歳となっていました。おわびして訂正します。



ふるさとへの便り

⑥

湯出野出身の小松末治さん(62歳)からお便りをいただきました。



小松さん

故郷では紅葉の秋も終わり、山々の木の葉も舞い落ちて、一日と冬の気配が近づいている事とします。東京も寒さが日毎に厳しくなってきました。

私も年に一度位は帰りますが、特に道路の整備、公共施設等の充実は目を見張るばかりです。正に町民一体となり、住み良い町づくりに懸命に努力されている賜と深く敬意を表する次第です。しかし、一面では主産業の農業や林業、畜産等もいろいろと問題があるやに聞いています。地域の特性を生かした地場産業の振興と



今年新調した横断幕を広げて……

言っても、実現出来るまでには難問も多い事でしょう。今や日本農業の中心である米作情勢は楽観できず、減反政策や市場開放問題等深刻さを増していると言わざるを得ません。

若い人のみならず働く方達は町の職場の数にも限りがあり、今年も県外に出稼ぎされる人も相当数あると思われます。そんな折、町民待望の企業誘致が当局の大きな努力により実現したことは誠にすばらしい事であり、全町民もひとしく喜んでゐる事でしょう。さて東京東由利会では年間事業の一つとして、会員相互の親睦を

計るため、去る11月11日に「日帰り旅行」を初めて実施しました。行先は、山梨県の昇仙峡で、大型観光バス一台が満席となり、車内では民謡やカラオケはもちろん、秋田なまりで話しも大いにはずみ、一日中楽しい有意義な旅行が出来ました。次回は、会を更に大きく盛り上げようと誓い合い、無事旅行を終了しました。

故郷を離れて40数年、同年代や同郷の人達と会って近況や故郷の様子など話し合いすることも楽しみです。故郷とのきずなを益々深めて、町の皆様方に負けない様大いに励まし合って、頑張ろうと決意を新たにしているとことです。(小松さんのお住い)東京都小平市花小金井1-2-18



高橋満利子さん
(館)新田 (21歳)
37・12・25生まれ

話しているだけで楽しさを感じさせてくれる、とても明るい性格の女でした。高橋誠さん(館・新田)の長女で、祖父母、父母、兄の6人家族。農村生活改良普及員の資格をもつという満利子さんは、現在秋田信英(株)で、コンピューター管理の仕事をしています。

自分の性格についてひと言……すごく気が短いです。でも明るさでカバーしてますけど……。

嫌いなタイプの人……キマジメな人。すぐイジケてしまうような弱い人。裏、表のある人……これ以外は好き？

好きな食べ物は……ジャガイモの入らないカレー……

得意な料理は……もちろんジャガイモの入らないカレー

163cmと長身で、スポーツウーマンの感のする満利子さんでした。最後に、スポーツカーが好きで、好きな人とクレス(車の名前)の助手席に乗るのが夢とか……

次回はみどり保育園「ひまわり組」のちびっこが登場します。



わたしはびようしになつておともだちのあたまをきれいにあげたいな。



ヤングレポート

⑦

町民の声を町政に！

町長の面会日今月は21日

今月の本だな

▶岩波ジュニア科学講座9
 うずまく大気と海▶笑いの戦略▶耳ぶくろ▶北阪子句集5
 ▶野鳥の歳時記5▶歴史の群像第1巻「変革」

公民館図書室に「郷土出版物コーナー」を設けました。すべて東由利町で発刊された図書です。ほとんどが自費出版で、町の文化活動の一端を示すものですから、ぜひご覧ください。

なお郷土出版の情報がありましたら、お知らせ下さい。

消防署東由利分署では、火災予防のため、12月3日から15日までの間、立入り検査を予定しています。
 ストープ、風呂釜、屋内外の煙突、またメガネ石の点検と火気の後始末について注意するとともに、石油などの保管と災害に備えての避難口の確保についても一度確め、火災予防と立入り検査にご協力ください。（本荘地区組合消防署東由利分署）

*
 立入り検査のお知らせ



広報にのっている写真を
 ほしい方に差し上げます

今月の行事

- 1日・保健対策推進協議会
- 1日・葉タバコ収納（ $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{3}$ ）
- 7日・住吉栄養改善学級
- 12日・乳児健康調査
- 18日・ことぶき大学
- 19日・ジフテリア予防接種
- 20日・育児学級
- 21日・妊婦検診
- 21日・町長面会日
- 22日・スキー場開き
- 25日・3か月児クリニック
- 25日・小・中学校終業式
- 28日・ご用納め



東由利中学校生徒会から、今年も「空ビン回収義援金」として金一封（3万円）が届けられました。ありがとうございました。

*
 “発砲”にご注意を

例年、狩猟時期になると、電話ケーブルに銃弾をうけ通になる故障が発生しています。数十発の散弾による被害のため1か所の損傷にとどまらず、多数の重要な通信や緊急電話などが途絶え、多くの

自然なお手伝いを

身体障害者福祉週間

12月9日～15日



利用者が迷惑するばかりでなく、社会的にも重大な事故に発展する恐れもあります。

発砲に際しては付近の電話ケーブルに十分ご注意ください。

（本荘電報電話局）

住宅金融公庫 融資のご案内

住宅金融公庫では、「第3回個人向け融資」の申込受け付けを、11月15日から12月10日まで行います。ご利用になりたい方は、詳しいことを知りたい方は、次に連絡してください。

〒980 仙台市本町2丁目4
 16 フェスティバルセンター
 フタバ5階 住宅金融公庫仙台支所 住宅相談所 TEL 10

（住宅金融公庫仙台支所）

町の統計 11月

人口（ ）内は前月と比較	（ ）内は1月からの累計
・男 3,065人（7）	・出生 4人（69）
・女 3,132人（8）	・死亡 2人（43）
・計 6,197人（15）	・結婚 2組（22）
・世帯数 1,426世帯（2）	・離婚 0組（5）
・ゴミ処理量-----	31 t（303）
・火災-----	0件（0）
・救急車出動回数-----	1件（80）
・交通事故-----	0件（10）
・交通死亡事故「0」継続日数	1,599日
・総合開発センター「有鄰館」利用者数	1,005人（14,687）
・老人いこいの家「朋楽荘」利用者数	545人（5,541）

「契約するんじゃなかった…」でも…

消費者が販売業者に対して申し込みの撤回（契約の撤回）ができる「クーリングオフ」制度の解約期限が、12月1日から、4日以内が7日以内に改正されました。詳細は0188(35)0999県生活センターへ。

戸籍の窓口

(10/21) 11/20届出・敬称略

うぶ声



小松 陽子(賢・長女) 新田
 石橋 慎太郎(一親・長男) 板戸
 佐々木 克彦(安彦・長男) 大琴

小野 トミヨ(慶七・妻) 高屋
 遠藤 ハルノ(86竹三・母) 十二の前
 佐藤 明(幸基・長男) 寺田
 古関 クラノ(80正志・母) 松柴
 佐藤 昇(55英子・夫) 時雨山

おくやみ



横山 嘉男 向田
 中津川 弘美 秋田市
 遠藤 信弘 宇戸坂
 畠山 通恵 新町
 佐藤 範男 黒新田
 高橋 隆子 (新田)

結婚

